

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 認知症に理解のあるボランティアを、外出支援の際の「支援サポーター」として体験学習を含む養成事業はできないだろうか。	・外出時の支援者を増やして行く。	・現在、傾聴ボランティアさんに来ていただいているが、外出には参加していただいていない。日常的な外出支援をお願いできないか、社協を通じてお願いして行く。民生委員さんにも声かけをして行く。	12ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画の短期目標の項目が多いと指摘された。項目を整理して行く。カンファレンス時に家族の参加が少ない。	・介護計画の短期目標の項目を減らし、わかりやすい計画書を作成し、カンファレンスにご家族も参加していただき、記録に残す。	・介護計画作成時には、項目を整理し、短期目標を設定する。 ・ご家族が来られたときになどに、カンファレンスを開催し記録に残す。	3ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の旧友と支援 平成18年に法人としての「重度化対応及び看取り介護指針」を策定しているが、GHとしての独自の指針を考える必要があるのではないか。	・重度化や、終末期に向けた「重度化対応及び介護指針」の見直し	・ターミナル委員会の活動を通し、看取り指針について見直しを考えて行く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。